

2020年度 終了直後調査票（制度，企業版）

【当該プロジェクトに関連する現在の状況について伺います】

Q1. 研究開発成果のうち全てを第三者に事業承継もしくは事業譲渡している場合には、「具体的な状況」、「相手先の組織名称」、「相手先で連絡先となる者の氏名、部署、役職、電話番号、E-mail」をご記入ください。

記述欄 _____

Q2. 現時点における貴社の研究開発成果の段階は、次のうちどれですか。【必須】

- 1 研究段階 （基礎的・要素的な基礎探索段階）
- 2 開発段階 （開発用サンプル^{*1)}の作製，実用化に向けた課題を把握，応用開発段階）
- 3 製品化段階 （顧客評価（認定用）サンプル^{*2)}の作製，量産化技術の確立，工業化開発段階）
- 4 上市段階 （カタログ掲載など市場での取引を開始，工場での運転を開始）
- 5 中止 （社内での研究開発活動は停止され，それ以上の開発は行われぬ。）
- 6 中断 （社内での研究開発活動は一時的に停止しているが，将来再開する可能性がある。）

*1) ユーザーニーズを把握するためのサンプル

*2) 顧客が製品を導入するための判断材料となるサンプル

【参考】研究開発段階のイメージ

	<活動の内容>	<アウトプットイメージ>
研究段階	基礎的/要素的な研究（現象の新規性や性能の進歩性等について把握）	社内レポート，特許，論文等
開発段階	製品化/上市を視野に入れた開発（開発用サンプルを作成し、ユーザーへのマーケティング調査を行うとともに技術やコストの優位性および量産化技術等の課題を把握）	製品化/上市の判断材料となる結果等
製品化段階	製品化、量産化技術の確立（製品化への社内承認，試作機の製造，所管省庁/監督団体による販売承認/検査，製品を市場に投入するための設備投資の実施等）	顧客評価（認定用）サンプルの作成や量産試作の実施，製造ライン設置，原価計算等
上市段階	市場での取引	製品ラインアップ化（カタログ掲載），継続的な売上発生等

Q3. 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う対応に関連し、貴社の研究開発成果を取り巻く状況に変化はありましたか。

- 1 事業計画（あるいは研究開発計画）を前倒し、または拡大することになった。
- 2 計画の変更には至っていないが、社内外からの問い合わせが増加した。
- 3 事業計画（あるいは研究開発計画）を後倒し、または縮小することになった。
- 4 特に変化はなし。

<上記で、「1 事業計画（あるいは研究開発計画）を前倒し、または拡大することになった。」を選択された方は、生じた変化を具体的にご記入ください。>

記述欄 _____

Q4 Q2で「1 研究段階」「2 開発段階」を選択した場合、想定される上市・製品化の時期はいつ頃でしょうか。

- 1 3年以内 2 3～5年 3 5～10年 4 10年以上 5 予定は立っていない

Q5 Q2で「1 研究段階」「2 開発段階」「3 製品化段階」「4 上市段階」を選択された方は、現在の社内での研究テーマ名についてご記入ください。

記述欄 _____

Q6. 当該プロジェクト終了後における、貴社内での研究開発活動の継続可否判断について伺います。

<継続可否判断が行われた時期>

- 1 提案時 2 採択直後 3 中盤 4 最終年度

<継続可否判断の意思決定者>

- 1 経営陣（役員以上） 2 事業部門の長 3 研究部門の長 4 その他 _____

Q7. Q2で「1 研究段階」「2 開発段階」「3 製品化段階」「4 上市段階」を選択した場合、現在の取り組みについて伺います。

<現在の開発体制>【複数回答可】

- 1 研究部門を主体とした開発
- 2 事業部門を主体とした開発
- 3 社内に当該研究開発に対応する新たなプロジェクトチームを設置して推進
- 4 社内に当該研究開発に対応する新たな部署を設置して推進
- 5 社内ベンチャーを創出し推進
- 6 カーブアウトベンチャーとして独立して推進
- 7 スピンオフ、スピンアウトして独立して推進
- 8 他社との合弁会社を設立して推進
- 9 NEDOプロジェクトメンバー（大学・公的研究機関）との共同開発を推進
- 10 NEDOプロジェクトメンバー（企業）との共同開発を推進
- 11 NEDOプロジェクトメンバー外の企業・大学・公的研究機関と共同開発を推進
- 12 海外の企業・大学・公的研究機関との共同開発を推進
- 13 NEDOプロジェクトメンバーでコンソーシアムを設立して推進
- 14 既設のコンソーシアムに参加して推進
- 15 公的研究開発プロジェクト（NEDOプロジェクト含む）に参加して推進

<上記で、「13 NEDOプロジェクトメンバーでコンソーシアムを設立して推進」「14 既設のコンソーシアムに参加して推進」「15 公的研究開発プロジェクト（NEDOプロジェクト含む）に参加して推進」を選択された方は、コンソーシアム・プロジェクトの名称をご記入ください。>

Q8. 当該プロジェクトの開始時点及び終了時点における、貴社の本プロジェクトに係る主体はどちらの部門ですか。最もあてはまるものをご回答ください。

<開始時点>

- 1 研究開発部門 2 事業部門

<終了時点>

- 1 研究開発部門 2 事業部門

Q9. もし、プロジェクトに参加していなかった場合、社内において、当該研究開発はどのような状況になっていたと思われますか。【複数回答可】

- 1 着手されなかった。
- 2 中止・中断されていた。
- 3 3年以上遅れて着手されていた。
- 4 1年～2年程度遅れて着手されていた。
- 5 人員や設備投資が縮小されていた。
- 6 NEDO以外の外部研究開発資金で実施されていた。
- 7 予定通りに実施されていた。

Q10. 現段階で、NEDOのサポートを必要とお考えですか。

- 1 必要 2 不要

<上記で、「1 必要」を選択した場合、その内容はどれですか。> 【複数回答可】

- 1 実用化（製品化・上市段階）への資金助成
- 2 標準化活動への支援
- 3 法規制に係る対応支援
- 4 ユーザー企業とのマッチングの場の提供
- 5 マスコミを活用した広報活動支援
- 6 技術課題克服の支援
- 7 パイロット規模の生産技術開発に関する支援
- 8 国内外の市場動向の情報収集への支援
- 9 その他 _____

【参加頂いたプロジェクトの制度設計について伺います】

Q11. 本制度の公募情報はどのように知りましたか。当てはまるものをご回答ください。【複数回答可】

- 1 NEDO ホームページ
- 2 NEDO メール配信サービス
- 3 NEDO 主催の展示会・イベント

- 4 NEDO 担当者からの連絡
- 5 経済産業省や地域の経済産業局による広報（ホームページ、メールマガジン等）
- 6 業界団体等からの紹介
- 7 経営層の指示（トップダウン）
- 8 外部（大学、経済産業省、他）からの紹介
- 9 もともと知っていた
- 10 その他 _____

Q12. 本制度の下記項目について、最も当てはまるものをご回答ください。

	適切であった	一部、不適切であった	不適切であった
申請書の作成に係る負荷			<input checked="" type="radio"/>
採択審査プロセス			
経費執行に係る負荷、融通性			
研究開発期間			
研究開発費用（規模、負担率）			<input type="radio"/>
計画変更に係る柔軟性			
中間評価・ステージゲート評価			
事務手続きの量			

Q13. 上記を踏まえたうえで、本制度に対する総合的な満足度として、最も当てはまるものをご回答ください。

- 1 100点～ 2 80点～ 3 60点～ 4 40点～ 5 20点～

Q14. 本制度の改善に繋がるご意見・ご要望等ございましたらご記入ください。

記述欄 _____

【プロジェクトに応募された時期の状況について伺います】

Q15. プロジェクトに参加した主たる目的は、次のうちどれですか。

- 1 情報収集（技術の可能性確認） 2 技術・ノウハウの獲得 3 実用化の可能性の見極め
 4 終了後10年以内の上市・製品化 5 終了後5年以内の上市・製品化 6 その他 _____

Q16. プロジェクトにおいて貴社が担った役割はどれですか。【複数回答可】

- 1 川上（材料など）
- 2 川中（部材・部品など）
- 3 川下（最終製品）
- 4 実用化を目指す企業のサポート（性能評価など）
- 5 標準化や知的基盤整備

6 その他 _____

Q17. 最終的な貴社における研究開発の主たる出口は次のうちどれですか。

- 1 プロセス開発 2 システム開発 3 材料開発 4 部材・部品開発
5 機械装置開発 6 分析・評価 7 特に限定していない 8 その他 _____

Q18. 当該プロジェクトの開始時点における、貴社の研究開発段階は、次のうちどれですか。(各段階の定義はQ2をご参照下さい)

- 1 研究段階 (基礎的・要素的な基礎探索段階)
2 開発段階 (開発用サンプルの作製, 実用化に向けた課題を把握, 応用開発段階)
3 製品化段階 (顧客評価(認定用)サンプルの作製, 量産化技術の確立, 工業化開発段階)
4 上市段階 (カタログ掲載など市場での取引を開始, 工場での運転を開始)
5 中止 (社内での研究開発活動は停止され, それ以上の開発は行われない。)
6 中断 (社内での研究開発活動は一時的に停止しているが, 将来再開する可能性がある。)
7 未着手

Q19. 当該プロジェクトの開始時点での、貴社事業及び戦略における当該プロジェクトの位置付けは、次のうちどれでしたか。

<貴社事業との関係>

- 1 現有事業の延長(生産技術、品質改良、コスト改良、新グレード開発、グレードアップ 他)
2 現有事業の周辺(生産技術や評価技術、商流、人材などの経営資源の活用が可能)で会社として新規な市場への参入
3 現有事業とは全く異なる新規な市場への参入
4 世界的に価値が未確定の新規技術・製品の開発

<貴社戦略(経営戦略、事業戦略)との関係>

- 1 貴社の戦略上、不可欠と判断された研究開発
2 貴社の戦略上、重要と判断された研究開発
3 貴社の戦略上、特に重要とは判断されていなかった研究開発
4 貴社の戦略上、ほとんど注目されていなかった研究開発
5 貴社の戦略上、不必要と判断されていた研究開発

Q20. 当該プロジェクトに参加された際の技術シーズは、どのように開発されたものですか。【複数回答可】

- 1 自社費用にて開発
2 過去のNEDOプロジェクトで開発
3 文部科学省プロジェクトにて開発
4 大学・研究機関等の共同研究費にて開発
5 当該NEDOプロジェクト実施期間中に初めて開発
6 他機関・他社から購入もしくはライセンスを受けたもの

7 その他 _____

【プロジェクト期間中の活動について伺います】

Q21. 当該プロジェクト実施期間中に要した研究開発費（自己負担分も含む総額）のうち、NEDO から供給された資金の占める割合はどの程度でしたか。

- 1 100%～ 2 80%～ 3 60%～ 4 40%～ 5 20%～

Q22. 当該プロジェクトに対する、関与のタイミングについて伺います。

<経営層の関与>

- 1 提案時から密接に関与 2 採択直後から関与 3 開発成果が見え始めてから関与
4 実用化の可能性が見え始めてから関与 5 ほとんど関与していない

<事業部門（新規事業開発部門含む）の関与>

- 1 提案時から密接に関与 2 採択直後から関与 3 開発成果が見え始めてから関与
4 実用化の可能性が見え始めてから関与 5 ほとんど関与していない

Q23. 貴社の開発成果の受け手となる想定ユーザー・顧客は、当該 NEDO プロジェクトにどのように関与していましたか。【複数回答可】

- 1 全く関与していなかった
2 NEDO プロジェクトには関与していないが、NEDO プロジェクト開始前から自社と取引関係にあった。
3 NEDO プロジェクト実施体制に参加
4 NEDO プロジェクト内部に設置された有識者委員会（アドバイザリーボード、ユーザー委員会等）に有識者として参加
5 NEDO が設置した採択審査委員会に審査委員として参加
6 NEDO が設置した技術推進委員会に委員として参加
7 NEDO が設置した中間・事後評価分科会に評価委員として参加
8 NEDO プロジェクト実施期間中にサンプル提供を実施し評価頂いた
9 NEDO プロジェクト実施期間中にマッチング会を開催し参加頂いた
10 その他 _____

Q24. 想定ユーザー・顧客との協議頻度はどの程度でしたか。

- 1 週 1 回以上 2 月 1 回以上 3 3 ヶ月に 1 回以上 4 半年に 1 回以上
5 1 年に 1 回以上 6 ほとんど無し

Q25. 下記調査・検討の実施状況について、最初に検討・実施した時期についてご回答ください。

提案前	採択直後	中盤	後半	検討・実施 してい ない
-----	------	----	----	--------------------

製品化・上市の事業化シナリオ検討	<input type="radio"/>				
コスト目標の設定	<input type="radio"/>				
リスク検討	<input type="radio"/>				
競争力のポジショニング調査	<input type="radio"/>				
市場動向調査	<input type="radio"/>				
特許動向調査	<input type="radio"/>				
論文、雑誌、業界紙他による技術動向調査	<input type="radio"/>				

【プロジェクト実施の効果に関連して伺います】

Q26. 当該プロジェクトで設定した目標値に対する達成度は何点になりますか。

- 1 150点以上（目標値を遥かに上回る達成） 2 120点（目標値を上回る達成）
3 100点（目標値を達成） 4 70点（目標値を下回った） 5 40点以下（目標値を遥かに下回った）

Q27. 実用化（製品化・上市段階）までの達成度（実用化に向けた進捗率）は何%程度ですか。

残された課題（品質、生産技術、コスト、特許、市場競争力 他）を考慮してお選びください。

- 1 100%～ 2 80%～ 3 60%～ 4 40%～ 5 20%～

Q28. 目標値の達成度と実用化目標の達成度との点差の理由は、次のうちどれですか。【複数回答可】

- 1 技術的課題 2 コスト的課題 3 組織的問題 4 時間的問題 5 法律・規制の問題
6 社会受容性の問題

Q29. 当該プロジェクトに参加した研究員に対する人材育成効果について、当てはまるものをご回答ください。【複数回答可】

- 1 当該プロジェクトで得た経験や知見をもとに、新たな研究開発プロジェクト（国・社内外問わず）を企画した。
2 当該プロジェクトで得た経験や知見をもとに、別の研究開発プロジェクト（国・社内外問わず）でリーダーを務めた。
3 当該プロジェクトで得た経験や知見をもとに、別の研究開発プロジェクト（国・社内外問わず）で事業化を成し遂げた。
4 当該プロジェクトの成果をもとに博士号を取得した人材を輩出した。
5 特になし
6 その他 _____

Q30. 当該研究開発に関する下記項目の状況について、プロジェクト開始時と終了後とを比較してお答えください。

<研究開発の規模（予算や人員）>

- 1 拡大した 2 やや拡大した 3 変化なし 4 やや縮小した 5 縮小した

<上市・製品化の可能性－I（プロジェクトで目指した技術分野）>

- 1 拡大した 2 やや拡大した 3 変化なし 4 やや縮小した 5 縮小した

< 上市・製品化の可能性－Ⅱ（プロジェクトで目指した技術分野以外への応用展開） >

- 1 拡大した 2 やや拡大した 3 変化なし 4 やや縮小した 5 縮小した

< 国内における競争力ポジション（技術・コスト・特許・市場等を総合的に判断したポジション） >

- 1 上がった 2 変わらない 3 下がった 4 不明

< 世界における競争力ポジション（技術・コスト・特許・市場等を総合的に判断したポジション） >

- 1 上がった 2 変わらない 3 下がった 4 不明

【NEDO 担当者のマネジメントについて伺います】

Q31. NEDO における下記支援制度の内、利用頂いた制度を全て選択してください。【複数回答可】

- 1 知財プロデューサー派遣制度
- 2 技術経営アドバイザー派遣制度
- 3 NEDO と共同でのプレスリリース・記者会見
- 4 NEDO 出展展示会でのサンプル展示
- 5 NEDO サンプルマッチング制度
- 6 NEDO ピッチへの参加
- 7 オープンイノベーション協議会への参加
- 8 NEDO 事業化支援人材（カタライザー）による指導・助言
- 9 NEDO ビジネスマッチング会への参加
- 10 その他（具体的に記述） _____

Q32. NEDO 担当者のマネジメントに対する満足度はどれくらいでしたか。

- 1 100 点 2 80 点 3 60 点 4 40 点 5 20 点以下

Q33. NEDO 担当者との打合せ頻度はどの程度でしたか。

- 1 週 1 回以上 2 月 1 回以上 3 3 ヶ月に 1 回以上 4 半年に 1 回以上
5 1 年に 1 回以上 6 ほとんど無し

Q34. NEDO 担当者との協議について、普段どのような協議をされていましたか。また、何をやって欲しかったですか。

< 普段の協議内容 > 【複数回答可】

- 1 契約手続き（実施計画書の内容精査等）
- 2 予算要求・予算配分の折衝
- 3 中間・事後評価に係る対応
- 4 資産処分に係る対応

- 5 各種提出書類に係る対応
- 6 他機関との利害調整
- 7 法規制に係る協議
- 8 事業化シナリオの方向性検討
- 9 研究開発の方向性検討
- 10 知的財産等の取り扱いに係る検討
- 11 戦略的な標準化取得に向けた検討
- 12 国内外の技術開発動向
- 13 技術的なアドバイス（データ解析・解釈）
- 14 市場に関するアドバイス
- 15 宣伝・広報
- 16 ユーザー企業とのマッチングの場の提供
- 17 経営に関するアドバイス
- 18 その他（上記以外で主要な項目） _____

<当該プロジェクト終了後の協議内容> 【複数回答可】

- 1 各種提出書類に係る対応
- 2 法規制に係る協議
- 3 事業化シナリオの方向性検討
- 4 研究開発の方向性検討
- 5 知的財産等の取り扱いに係る検討
- 6 戦略的な標準化取得に向けた検討
- 7 国内外の技術開発動向
- 8 技術的なアドバイス（データ解析・解釈）
- 9 市場に関するアドバイス
- 10 宣伝・広報
- 11 ユーザー企業とのマッチングの場の提供
- 12 経営に関するアドバイス
- 13 その他（上記以外で重要な項目） _____

<やって欲しかったこと> 【複数回答可】

- 1 契約手続き（実施計画書の内容精査等）
- 2 予算要求・予算配分の折衝
- 3 中間・事後評価に係る対応
- 4 資産処分に係る対応
- 5 各種提出書類に係る対応
- 6 他機関との利害調整
- 7 法規制に係る協議
- 8 事業化シナリオの方向性検討

- 9 研究開発の方向性検討
- 10 知的財産等の取り扱いに係る検討
- 11 戦略的な標準化取得に向けた検討
- 12 国内外の技術開発動向
- 13 技術的なアドバイス（データ解析・解釈）
- 14 市場に関するアドバイス
- 15 宣伝・広報
- 16 ユーザー企業とのマッチングの場の提供
- 17 経営に関するアドバイス
- 18 その他（上記以外で重要な項目） _____

Q35. 本追跡アンケート調査及び NEDO における評価活動についてのご意見・ご要望等ございましたらご記入ください。

記述欄 _____

以上、ご協力、誠にありがとうございました。

【NEDO からのお知らせ】

●NEDO 公式 Twitter

NEDO ホームページに掲載された最新の情報（ニュースリリース、公募情報、イベント開催情報等）を、メール配信サービスにご登録いただいた皆様に発信していましたが、2020 年 4 月 20 日より、NEDO 公式 Twitter から情報発信を行っております。是非、NEDO 公式 Twitter をご覧ください。

<http://www.nedo.go.jp/nedomail/index.html>

●標準化に関するお役立ち情報

国際標準化等を通じた研究開発成果の事業化支援も NEDO の重要な役割の一つです。研究開発成果の社会実装を実現化していくための一つのツールである標準化について、検討する際に役立つ情報を「標準化に関するお役立ち情報」としてとりまとめました。是非、ご活用ください。

https://www.nedo.go.jp/introducing/useful_info.html

●研究開発型ベンチャー・中小企業向け支援メニュー

ベンチャー、中小・中堅企業向けのテーマ公募型事業の紹介や、「事業会社と研究開発型ベンチャー企業の連携のための手引き（初版）」を紹介したページです。

http://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP2_100063.html?from=key

●マッチング スペース

ベンチャー、中小・中堅企業向け支援メニューの 1 つとして、NEDO 成果を活用した製品開発・技術開発、成果物の販売、サンプル提供、技術提携等、幅広く企業等（ユーザー）との“マッチングの場”となること

を目的としたコンテンツです。

<http://www.nedo.go.jp/library/matching/index.html>

●NEDO プロジェクト実用化ドキュメント（107 事例掲載）

追跡アンケート調査において、製品化段階もしくは上市段階に至った開発成果について、現在、どのような製品やサービスとなって活用されているか、開発現場を訪ねて紹介するシリーズ企画です。様々な分野の開発ストーリーを掲載しておりますので、是非、ご覧ください。

<http://www.nedo.go.jp/hyoukabu/index.html>

●NEDO インサイド製品（117 製品登録）

NEDO プロジェクト開発成果が社会にもたらす経済効果や社会的便益について「NEDO インサイド製品 2019」として取り纏めました。是非、ご覧ください。

http://www.nedo.go.jp/nedo_inside.html

2020 年度 終了直後調査票（制度，大学，法人，研究機関版）

【当該プロジェクトに関連する現在の状況について伺います】

Q1. 研究開発成果のうち全てを第三者に承継もしくは譲渡している場合には、「具体的な状況」、「相手先の組織名称」、「相手先で連絡先となる者の氏名、部署、役職、電話番号、E-mail」をご記入ください。

記述欄 _____

Q2. プロジェクトで得られた知見や成果を利用した継続的な研究開発を実施していますか。

- 1 継続実施している 2 継続実施していない

<上記で「1 継続実施している」を選択された方は、研究開発のテーマ名についてご記入ください。

>

記述欄 _____

<上記で「1 継続実施している」を選択した場合、現在の研究開発体制をご回答ください。> **【複数回答可】**

- 1 独自で研究開発を継続
- 2 ベンチャー企業を設立して推進
- 3 NEDO プロジェクトメンバー（大学・公的研究機関）との共同開発を推進
- 4 NEDO プロジェクトメンバー（企業）との共同開発を推進
- 5 NEDO プロジェクトメンバー外の企業・大学・公的研究機関との共同開発を推進
- 6 海外の企業・大学・公的研究機関との共同開発を推進
- 7 NEDO プロジェクトメンバーでコンソーシアムを設立して推進
- 8 既設のコンソーシアムに参加して推進
- 9 公的研究開発プロジェクト（NEDO プロジェクト含む）に参加して推進
- 10 成果受け入れ先企業の探索中
- 11 その他 _____

<「7 NEDO プロジェクトメンバーでコンソーシアムを設立して推進」「8 既設のコンソーシアムに参加して推進」「9 公的研究開発プロジェクト（NEDO プロジェクト含む）に参加して推進」を選択された方は、コンソーシアム・プロジェクトの名称をご記入ください。>

記述欄 _____

<上記で「2 継続実施していない」を選択した場合、その理由として当てはまるものをご回答ください。> **【複数回答可】**

- 1 研究開発目的を達成
- 2 技術課題の克服が困難

- 3 研究開発資金が確保できなかったため。
- 4 共同研究先が研究開発を中止したため。
- 5 その他 _____

【プロジェクト実施の効果に関連して伺います】

Q3. NEDO プロジェクトで目指した研究開発以外への波及効果について伺います。

<波及効果の有無>

- 1 あった
- 2 なかった

<波及効果の適用先> 【複数回答可】

- 1 NEDO プロジェクトとは異なる既存研究テーマへの展開
- 2 新規研究テーマの立ち上げ
- 3 人材育成
- 4 新たなネットワークの構築
- 5 公的資金獲得
- 6 企業とのコミュニケーション円滑化
- 7 その他 _____

Q4. 当該プロジェクトに参加した研究員に対する人材育成効果について、当てはまるものをご回答ください。【複数回答可】

- 1 当該プロジェクトで得た経験や知見をもとに、新たな研究開発プロジェクト・テーマ（機関内外問わず）を企画した。
- 2 当該プロジェクトで得た経験や知見をもとに、別の研究開発プロジェクト・テーマ（機関内外問わず）でリーダーを務めた。
- 3 当該プロジェクトで得た経験や知見をもとに、別の研究開発プロジェクト・テーマ（機関内外問わず）で事業化を成し遂げた。
- 4 当該プロジェクトの成果をもとに博士号を取得した人材を輩出した。
- 5 特になし
- 6 その他 _____

【参加頂いたプロジェクトの制度設計について伺います】

Q5. 本制度の公募情報はどのように知りましたか。当てはまるものをご回答ください。【複数回答可】

- 1 NEDO ホームページ
- 2 NEDO メール配信サービス
- 3 NEDO 主催の展示会・イベント
- 4 NEDO 担当者からの連絡

- 5 経済産業省や地域の経済産業局による広報（ホームページ、メールマガジン等）
- 6 業界団体等からの紹介
- 7 経営層の指示（トップダウン）
- 8 外部（大学、経済産業省、他）からの紹介
- 9 もともと知っていた
- 10 その他 _____

Q6. 本制度の下記項目について、最も当てはまるものをご回答ください。

	適切であった	一部、不適切であった	不適切であった
申請書の作成に係る負荷			<input checked="" type="radio"/>
採択審査プロセス			
経費執行に係る負荷、融通性			
研究開発期間			
研究開発費用（規模、負担率）			<input checked="" type="radio"/>
計画変更に係る柔軟性			
中間評価・ステージゲート評価			
事務手続きの量			

Q7. 上記を踏まえたうえで、本制度に対する総合的な満足度として、最も当てはまるものをご回答ください。

- 1 100点～ 2 80点～ 3 60点～ 4 40点～ 5 20点～

Q8. 本制度の改善に繋がるご意見・要望等ございましたらご記入ください。

記述欄 _____

【プロジェクトのマネジメントについて伺います】

Q9. NEDO プロジェクトへの参加経験は何回目でしたか。

- 1 初めて 2 2回目 3 3回目 4 4回目 5 5回目以上

Q10. 当該プロジェクトにおけるご自身の役割について、当てはまるものをご回答ください。【複数回答可】

- 1 企業のサポート研究
- 2 アドバイザー
- 3 分析／解析／評価
- 4 メカニズム解明
- 5 技術移転元（シーズ技術やコア技術を保有）

- 6 材料等の探索研究
- 7 基礎データ取得
- 8 プロセス設計
- 9 装置開発
- 10 ソフト開発
- 11 データベース構築（データ取得）
- 12 標準化や知的基盤整備
- 13 リーダーとしての全体統括
- 14 その他 _____

Q11. NEDO プロジェクトへの参加において重要視しているものについて教えてください。【複数回答可】

- 1 基礎研究の充実
- 2 研究開発成果の実用化
- 3 新たな現象の発見
- 4 予算獲得
- 5 論文発表
- 6 特許取得
- 7 メカニズム解明
- 8 分析／解析／評価手法の確立
- 9 データベース構築
- 10 企業との共同研究
- 11 他大学や研究開発独法との共同研究
- 12 企業のサポート研究
- 13 ベンチャー企業設立
- 14 技術移転
- 15 その他 _____

【NEDO 担当者のマネジメントについて伺います】

Q12. NEDO 担当者のマネジメントに対する満足度はどれくらいでしたか。

- 1 100点
- 2 80点
- 3 60点
- 4 40点
- 5 20点以下

Q13. NEDO 担当者との打合せ頻度はどの程度でしたか。

- 1 週1回以上
- 2 月1回以上
- 3 3ヶ月に1回以上
- 4 半年に1回以上
- 5 1年に1回以上
- 6 ほとんど無し

Q14. NEDO 担当者とは、普段、どのような協議をされておりましたか。また、何をやって欲しかったですか。

<普段の協議内容> 【複数回答可】

- 1 契約手続き（実施計画書の内容精査等）
- 2 予算要求・予算配分の折衝
- 3 中間・事後評価に係る対応
- 4 資産処分に係る対応
- 5 各種提出書類に係る対応
- 6 他機関との利害調整
- 7 法規制に係る協議
- 8 事業化シナリオの方向性検討
- 9 研究開発の方向性検討
- 10 知的財産等の取り扱いに係る検討
- 11 戦略的な標準化取得に向けた検討
- 12 国内外の技術開発動向
- 13 技術的なアドバイス（データ解析・解釈）
- 14 市場に関するアドバイス
- 15 宣伝・広報
- 16 ユーザー企業とのマッチングの場の提供
- 17 その他（上記以外で主要な項目） _____

<やって欲しかったこと> 【複数回答可】

- 1 契約手続き（実施計画書の内容精査等）
- 2 予算要求・予算配分の折衝
- 3 中間・事後評価に係る対応
- 4 資産処分に係る対応
- 5 各種提出書類に係る対応
- 6 他機関との利害調整
- 7 法規制に係る協議
- 8 事業化シナリオの方向性検討
- 9 研究開発の方向性検討
- 10 知的財産等の取り扱いに係る検討
- 11 戦略的な標準化取得に向けた検討
- 12 国内外の技術開発動向
- 13 技術的なアドバイス（データ解析・解釈）
- 14 市場に関するアドバイス
- 15 宣伝・広報
- 16 ユーザー企業とのマッチングの場の提供
- 17 その他（上記以外で主要な項目） _____

Q15. 本追跡アンケート調査及び NEDO における評価活動についてのご意見・ご要望等ございましたらご

記入ください。

記述欄 _____

以上、ご協力、誠にありがとうございました。

【NEDO からのお知らせ】

●NEDO 公式 Twitter

NEDO ホームページに掲載された最新の情報（ニュースリリース、公募情報、イベント開催情報等）を、メール配信サービスにご登録いただいた皆様に発信していましたが、2020年4月20日より、NEDO 公式 Twitter から情報発信を行っております。是非、NEDO 公式 Twitter をご覧ください。

<http://www.nedo.go.jp/nedomail/index.html>

●標準化に関するお役立ち情報

国際標準化等を通じた研究開発成果の事業化支援も NEDO の重要な役割の一つです。研究開発成果の社会実装を実現化していくための一つのツールである標準化について、検討する際に役立つ情報を「標準化に関するお役立ち情報」としてとりまとめました。是非、ご活用ください。

https://www.nedo.go.jp/introducing/useful_info.html

●研究開発型ベンチャー・中小企業向け支援メニュー

ベンチャー、中小・中堅企業向けのテーマ公募型事業の紹介や、「事業会社と研究開発型ベンチャー企業の連携のための手引き（初版）」を紹介したページです。

http://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP2_100063.html?from=key

●マッチング スペース

ベンチャー、中小・中堅企業向け支援メニューの1つとして、NEDO 成果を活用した製品開発・技術開発、成果物の販売、サンプル提供、技術提携等、幅広く企業等（ユーザー）との“マッチングの場”となることを目的としたコンテンツです。

<http://www.nedo.go.jp/library/matching/index.html>

●NEDO プロジェクト実用化ドキュメント（107 事例掲載）

追跡アンケート調査において、製品化段階もしくは上市段階に至った開発成果について、現在、どのような製品やサービスとなって活用されているか、開発現場を訪ねて紹介するシリーズ企画です。様々な分野の開発ストーリーを掲載しておりますので、是非、ご覧下さい。

<http://www.nedo.go.jp/hyoukabu/index.html>

●NEDO インサイド製品（117 製品登録）

NEDO プロジェクト開発成果が社会にもたらす経済効果や社会的便益について「NEDO インサイド製品

2019」 として取り纏めました。是非、ご覧ください。

http://www.nedo.go.jp/nedo_inside.html

2020年度 簡易調査票（制度，企業版）

【当該プロジェクトに関連する現在の状況について伺います】

Q1. 研究開発成果のうち全てを第三者に事業承継もしくは事業譲渡している場合には、「具体的な状況」「相手先の組織名称」、「相手先で連絡先となる者の氏名、部署、役職、電話番号、E-mail」をご記入ください。

記述欄 _____

Q2. 現時点における貴社の研究開発成果の段階は、次のうちどれですか。【必須】

- 1 研究段階 (基礎的・要素的な基礎探索段階)
- 2 開発段階 (開発用サンプル^{*1)}の作製，実用化に向けた課題を把握，応用開発段階)
- 3 製品化段階 (顧客評価(認定用)サンプル^{*2)}の作製，量産化技術の確立，工業化開発段階)
- 4 上市段階 (カタログ掲載など市場での取引を開始，工場での運転を開始)
- 5 中止 (社内での研究開発活動は停止され，それ以上の開発は行われない。)
- 6 中断 (社内での研究開発活動は一時的に停止しているが，将来再開する可能性がある。)

*1) ユーザーニーズを把握するためのサンプル

*2) 顧客が製品を導入するための判断材料となるサンプル

【参考】研究開発段階のイメージ

	<活動の内容>	<アウトプットイメージ>
研究段階	-基礎的/要素的な研究(現象の新規性や性能の進歩性等について把握)	社内レポート，特許，論文等
開発段階	製品化/上市を視野に入れた開発(開発用サンプルを作成し，ユーザーへのマーケティング調査を行うとともに技術やコストの優位性および量産化技術等の課題を把握)	製品化/上市の判断材料となる結果等
製品化段階	製品化、量産化技術の確立(製品化への社内承認，試作機の製造，所管省庁/監督団体による販売承認/検査，製品を市場に投入するための設備投資の実施等)	顧客評価(認定用)サンプルの作成や量産試作の実施，製造ライン設置，原価計算等
上市段階	市場での取引	製品ラインアップ化(カタログ掲載)，継続的な売上発生等

Q3. 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う対応に関連し、貴社の研究開発成果を取り巻く状況に変化はありましたか。

- 1 事業計画(あるいは研究開発計画)を前倒し、または拡大することになった。
- 2 計画の変更には至っていないが、社内外からの問い合わせが増加した。

- 3 事業計画（あるいは研究開発計画）を後倒し、または縮小することになった。
- 4 特に変化はなし。

<上記で、「1 事業計画（あるいは研究開発計画）を前倒し、または拡大することになった。」を選択された方は、生じた変化を具体的にご記入ください。>

記述欄 _____

Q4 Q2で「1 研究段階」「2 開発段階」を選択した場合、想定される上市・製品化の時期はいつ頃でしょうか。

- 1 3年以内
- 2 3～5年
- 3 5～10年
- 4 10年以上
- 5 予定は立っていない

Q5. Q2で「1 研究段階」「2 開発段階」「3 製品化段階」「4 上市段階」を選択した場合、現在の開発体制についてご回答ください。

<現在の開発体制>【複数回答可】

- 1 研究部門を主体とした開発
- 2 事業部門を主体とした開発
- 3 社内に当該研究開発に対応する新たなプロジェクトチームを設置して推進
- 4 社内に当該研究開発に対応する新たな部署を設置して推進
- 5 社内ベンチャーを創出して推進
- 6 カーブアウトベンチャーとして独立して推進
- 7 スピンオフ、スピンアウトして独立して推進
- 8 他社との合弁会社を設立して推進
- 9 NEDO プロジェクトメンバー（大学・公的研究機関）との共同開発を推進
- 10 NEDO プロジェクトメンバー（企業）との共同開発を推進
- 11 NEDO プロジェクトメンバー外の企業・大学・公的研究機関との共同開発を推進
- 12 海外の企業・大学・公的研究機関との共同開発を推進
- 13 NEDO プロジェクトメンバーでコンソーシアムを設立して推進
- 14 既設のコンソーシアムに参加して推進
- 15 公的研究開発プロジェクト（NEDO プロジェクト含む）に参加して推進

<上記で、「13 NEDO プロジェクトメンバーでコンソーシアムを設立して推進」「14 既設のコンソーシアムに参加して推進」「15 公的研究開発プロジェクト（NEDO プロジェクト含む）に参加して推進」を選択した方は、コンソーシアム・プロジェクトの名称をご記入ください。>

記述欄 _____

【プロジェクト実施の効果に関連して伺います】

Q6. もし、プロジェクトに参加していなかった場合、社内において、当該研究開発はどのような状況になっていたと思われますか。【複数回答可】

- 1 着手されなかった。
- 2 中止・中断されていた。
- 3 3年以上遅れて着手されていた。
- 4 1年～2年程度遅れて着手されていた。
- 5 人員や設備投資が縮小されていた。
- 6 NEDO以外の外部研究開発資金で実施されていた。
- 7 予定通りに実施されていた。

Q7. 当該研究開発に関する下記項目の状況について、前回の追跡アンケート調査時点と現在を比較してどのような状況になっていますか。

<研究開発の規模（予算や人員）>

- 1 拡大した
- 2 やや拡大した
- 3 変化なし
- 4 やや縮小した
- 5 縮小した

<上市・製品化の可能性－Ⅰ（プロジェクトで目指した技術分野）>

- 1 拡大した
- 2 やや拡大した
- 3 変化なし
- 4 やや縮小した
- 5 縮小した

<上市・製品化の可能性－Ⅱ（プロジェクトで目指した技術分野以外への応用展開）>

- 1 拡大した
- 2 やや拡大した
- 3 変化なし
- 4 やや縮小した
- 5 縮小した

<国内における競争力ポジション（技術・コスト・特許・市場等を総合的に判断したポジション）>

- 1 上がった
- 2 変わらない
- 3 下がった
- 4 不明

<世界における競争力ポジション（技術・コスト・特許・市場等を総合的に判断したポジション）>

- 1 上がった
- 2 変わらない
- 3 下がった
- 4 不明

Q8. 当該プロジェクト実施による波及効果について伺います。

<当初想定していなかった派生技術の有無>

- 1 あった
- 2 なかった

<上記で、「1 あった」を選択した方は、派生技術の内容及び適用先について具体的にご記入ください。>

記述欄 _____

<当該プロジェクトで目指した技術分野以外への技術転用の有無>

- 1 あった
- 2 なかった

<上記で、「1 あった」を選択した方は、技術転用先の分野・製品についてご記入ください。>
記述欄 _____

<当該プロジェクト実施による波及効果について、当てはまるものをご回答ください>【複数回答可】

- 1 新規事業の創出
- 2 新規製品・サービスの開発
- 3 新規顧客の獲得
- 4 新規共同研究先の獲得
- 5 新たな外部資金(融資、出資含む)の獲得
- 5 中長期(5年~10年で事業化)の新規開発テーマの立ち上げ
- 6 短期(3年以内で事業化)の新規開発テーマの立ち上げ
- 7 社内における中長期研究開発に対する理解増進
- 8 既存製品へのNEDOプロジェクト開発成果の組み込み
- 9 既存の生産プロセスへの適用による高効率化や低コスト化
- 10 品質管理方法の改善
- 11 評価・解析技術の横展開
- 12 企業ブランドの向上
- 13 特になし

Q9. 当該プロジェクトに参加した研究員に対する人材育成効果について、当てはまるものをご回答ください。【複数回答可】

- 1 当該プロジェクトで得た経験や知見をもとに、新たな研究開発プロジェクト(国・社内外問わず)を企画した。
- 2 当該プロジェクトで得た経験や知見をもとに、別の研究開発プロジェクト(国・社内外問わず)でリーダーを務めた。
- 3 当該プロジェクトで得た経験や知見をもとに、別の研究開発プロジェクト(国・社内外問わず)で事業化を成し遂げた。
- 4 当該プロジェクトの成果をもとに博士号を取得した人材を輩出した。
- 5 特になし
- 6 その他 _____

【プロジェクト終了後の活動について伺います】

Q10. 直近1年間におけるNEDO担当者との協議頻度及び内容について当てはまるものをご回答ください。

<協議頻度>

- 1 週1回以上 2 月1回以上 3 3ヶ月に1回以上 4 半年に1回以上
- 5 1年に1回以上 6 ほとんど無し

<協議内容>【複数回答可】

- 1 各種提出書類に係る対応
- 2 法規制に係る協議
- 3 事業化シナリオの方向性検討
- 4 研究開発の方向性検討
- 5 知的財産等の取り扱いに係る検討
- 6 戦略的な標準化取得に向けた検討
- 7 国内外の技術開発動向
- 8 技術的なアドバイス（データ解析・解釈）
- 9 市場に関するアドバイス
- 10 宣伝・広報
- 11 ユーザー企業とのマッチングの場の提供
- 12 経営に関するアドバイス
- 13 その他（上記以外で重要な項目） _____

Q11. 現状でNEDOのサポートを必要とお考えですか。

- 1 必要
- 2 不要

<上記で「1 必要」を選択した場合、その内容はどれですか>【複数回答可】

- 1 実用化の際の資金助成
- 2 標準化活動への支援
- 3 法規制に係る対応支援
- 4 ユーザー企業とのマッチングの場の提供
- 5 マスコミを活用した広報活動支援
- 6 技術課題克服の支援
- 7 パイロット規模の生産技術開発に関する支援
- 8 国内外の市場動向の情報収集への支援
- 9 その他 _____

Q12. 本追跡アンケート調査及びNEDOにおける評価活動についてのご意見・ご要望等ございましたらご記入ください。

記述欄 _____

以上、ご協力、誠にありがとうございました。

【NEDOからのお知らせ】

●NEDO 公式 Twitter

NEDO ホームページに掲載された最新の情報（ニュースリリース、公募情報、イベント開催情報等）を、メール配信サービスにご登録いただいた皆様に発信していましたが、2020年4月20日より、NEDO 公式 Twitter から情報発信を行っております。是非、NEDO 公式 Twitter をご覧ください。

<http://www.nedo.go.jp/nedomail/index.html>

●標準化に関するお役立ち情報

国際標準化等を通じた研究開発成果の事業化支援も NEDO の重要な役割の一つです。研究開発成果の社会実装を実現していくための一つのツールである標準化について、検討する際に役立つ情報を「標準化に関するお役立ち情報」としてとりまとめました。是非、ご活用ください。

https://www.nedo.go.jp/introducing/useful_info.html

●研究開発型ベンチャー・中小企業向け支援メニュー

ベンチャー、中小・中堅企業向けのテーマ公募型事業の紹介や、「事業会社と研究開発型ベンチャー企業の連携のための手引き（初版）」を紹介したページです。

http://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP2_100063.html?from=key

●マッチング スペース

ベンチャー、中小・中堅企業向け支援メニューの1つとして、NEDO 成果を活用した製品開発・技術開発、成果物の販売、サンプル提供、技術提携等、幅広く企業等（ユーザー）との“マッチングの場”となることを目的としたコンテンツです。

<http://www.nedo.go.jp/library/matching/index.html>

●NEDO プロジェクト実用化ドキュメント（107 事例掲載）

追跡アンケート調査において、製品化段階もしくは上市段階に至った開発成果について、現在、どのような製品やサービスとなって活用されているか、開発現場を訪ねて紹介するシリーズ企画です。様々な分野の開発ストーリーを掲載しておりますので、是非、ご覧下さい。

<http://www.nedo.go.jp/hyoukabu/index.html>

●NEDO インサイド製品（117 製品登録）

NEDO プロジェクト開発成果が社会にもたらす経済効果や社会的便益について「NEDO インサイド製品 2019」として取り纏めました。是非、ご覧ください。

http://www.nedo.go.jp/nedo_inside.html

2020年度 簡易調査票（制度、大学、法人、研究機関版）

【当該プロジェクトに関連する現在の状況について伺います】

Q1. 研究開発成果のうち全てを第三者に承継もしくは譲渡している場合には、「具体的な状況」「相手先の組織名称」、「相手先で連絡先となる者の氏名、部署、役職、電話番号、E-mail」をご記入ください。

記述欄 _____

Q2. プロジェクトで得られた知見や成果を利用した継続的な研究開発を実施していますか。

- 1 継続実施している 2 継続実施していない

<上記で「1 継続実施している」を選択した方は、現在の研究開発状況をお答え下さい。> 【複数回答可】

- 1 独自で研究開発を継続
- 2 ベンチャー企業を設立して推進
- 3 NEDO プロジェクトメンバー（大学・公的研究機関）との共同開発を推進
- 4 NEDO プロジェクトメンバー（企業）との共同開発を推進
- 5 NEDO プロジェクトメンバー外の企業・大学・公的研究機関との共同開発を推進
- 6 海外の企業・大学・公的研究機関との共同開発を推進
- 7 NEDO プロジェクトメンバーでコンソーシアムを設立して推進
- 8 既設のコンソーシアムに参加して推進
- 9 公的研究開発プロジェクト（NEDO プロジェクト含む）に参加して推進
- 10 成果受け入れ先企業の探索中
- 11 その他 _____

<「7 NEDO プロジェクトメンバーでコンソーシアムを設立して推進」「8 既設のコンソーシアムに参加して推進」「9 公的研究開発プロジェクト（NEDO プロジェクト含む）に参加して推進」を選択した方は、コンソーシアム・プロジェクトの名称をご記入ください。>

記述欄 _____

<上記で「2 継続実施していない」を選択した場合、その理由をご回答ください。> 【複数回答可】

- 1 研究開発目的を達成
- 2 技術課題の克服が困難
- 3 研究開発資金が確保できなかったため。
- 4 共同研究先が研究開発を中止したため。
- 5 その他 _____

【プロジェクト実施の効果に関連して伺います】

Q3. NEDO プロジェクトで目指した研究開発以外への波及効果について伺います。

<波及効果の有無>

- 1 あった 2 なかった

<波及効果の適用先> 【複数回答可】

- 1 NEDO プロジェクトとは異なる既存研究テーマへの展開
2 新規研究テーマの立ち上げ
3 人材育成
4 新たなネットワークの構築
5 公的資金獲得
6 企業とのコミュニケーション円滑化
7 その他 _____

Q4. 当該プロジェクトに参加した研究員に対する人材育成効果について、当てはまるものをご回答ください。【複数回答可】

- 1 当該プロジェクトで得た経験や知見をもとに、新たな研究開発プロジェクト・テーマ（機関内問わず）を企画した。
2 当該プロジェクトで得た経験や知見をもとに、別の研究開発プロジェクト・テーマ（機関内外問わず）でリーダーを務めた。
3 当該プロジェクトで得た経験や知見をもとに、別の研究開発プロジェクト・テーマ（機関内外問わず）で事業化を成し遂げた。
4 当該プロジェクトの成果をもとに博士号を取得した人材を輩出した。
5 特になし
6 その他 _____

Q5. 本追跡アンケート調査及びNEDOにおける評価活動についてのご意見・ご要望等ございましたらご記入ください。

記述欄 _____

以上、ご協力、誠にありがとうございました。

【NEDO からのお知らせ】

●NEDO 公式 Twitter

NEDO ホームページに掲載された最新の情報（ニュースリリース、公募情報、イベント開催情報等）を、メール配信サービスにご登録いただいた皆様に発信していましたが、2020年4月20日より、NEDO 公式 Twitter から情報発信を行っております。是非、NEDO 公式 Twitter をご覧ください。

<http://www.nedo.go.jp/nedomail/index.html>

●標準化に関するお役立ち情報

国際標準化等を通じた研究開発成果の事業化支援も NEDO の重要な役割の一つです。研究開発成果の社会実装を実現化していくための一つのツールである標準化について、検討する際に役立つ情報を「標準化に関するお役立ち情報」としてとりまとめました。是非、ご活用ください。

https://www.nedo.go.jp/introducing/useful_info.html

●研究開発型ベンチャー・中小企業向け支援メニュー

ベンチャー、中小・中堅企業向けのテーマ公募型事業の紹介や、「事業会社と研究開発型ベンチャー企業の連携のための手引き（初版）」を紹介したページです。

http://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP2_100063.html?from=key

●マッチング スペース

ベンチャー、中小・中堅企業向け支援メニューの1つとして、NEDO 成果を活用した製品開発・技術開発、成果物の販売、サンプル提供、技術提携等、幅広く企業等（ユーザー）との“マッチングの場”となることを目的としたコンテンツです。

<http://www.nedo.go.jp/library/matching/index.html>

●NEDO プロジェクト実用化ドキュメント（107 事例掲載）

追跡アンケート調査において、製品化段階もしくは上市段階に至った開発成果について、現在、どのような製品やサービスとなって活用されているか、開発現場を訪ねて紹介するシリーズ企画です。様々な分野の開発ストーリーを掲載しておりますので、是非、ご覧下さい。

<http://www.nedo.go.jp/hyoukabu/index.html>

●NEDO インサイド製品（117 製品登録）

NEDO プロジェクト開発成果が社会にもたらす経済効果や社会的便益について「NEDO インサイド製品 2019」として取り纏めました。是非、ご覧ください。

http://www.nedo.go.jp/nedo_inside.html

以上、ご協力、誠にありがとうございました。

2020年度 簡易上市調査票（制度，企業版）

【当該プロジェクトに関連する現在の状況について伺います】

Q1. 研究開発成果のうち全てを第三者に事業承継もしくは事業譲渡している場合には、「具体的な状況」、「相手先の組織名称」、「相手先で連絡先となる者の氏名、部署、役職、電話番号、E-mail」をご記入ください。

記述欄 _____

Q2. 現時点における貴社の研究開発成果の段階は、次のうちどれですか。【必須】

- 1 研究段階 （基礎的・要素的な基礎探索段階）
- 2 開発段階 （開発用サンプル^{*1}）の作製，実用化に向けた課題を把握，応用開発段階）
- 3 製品化段階 （顧客評価（認定用）サンプル^{*2}）の作製，量産化技術の確立，工業化開発段階）
- 4 上市段階 （カタログ掲載など市場での取引を開始，工場での運転を開始）
- 5 中止 （社内での研究開発活動は停止され，それ以上の開発は行われない。）
- 6 中断 （社内での研究開発活動は一時的に停止しているが，将来再開する可能性がある。）

*1) ユーザーニーズを把握するためのサンプル

*2) 顧客が製品を導入するための判断材料となるサンプル

【参考】研究開発段階のイメージ

	<活動の内容>	<アウトプットイメージ>
研究段階	基礎的/要素的な研究（現象の新規性や性能の進歩性等について把握）	社内レポート，特許，論文等
開発段階	製品化/上市を視野に入れた開発（開発用サンプルを作成し，ユーザーへのマーケティング調査を行うとともに技術やコストの優位性および量産化技術等の課題を把握）	製品化/上市の判断材料となる結果等
製品化段階	製品化、量産化技術の確立（製品化への社内承認，試作機の製造，所管省庁/監督団体による販売承認/検査，製品を市場に投入するための設備投資の実施等）	顧客評価（認定用）サンプルの作成や量産試作の実施，製造ライン設置，原価計算等
上市段階	市場での取引	製品ラインアップ化（カタログ掲載）、継続的な売上発生等

Q3. 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う対応に関連し、貴社の研究開発成果を取り巻く状況に変化はありましたか。

- 1 事業計画（あるいは研究開発計画）を前倒し、または拡大することになった。
- 2 計画の変更には至っていないが、社内外からの問い合わせが増加した。
- 3 事業計画（あるいは研究開発計画）を後倒し、または縮小することになった。
- 4 特に変化はなし。

<上記で、「1 事業計画（あるいは研究開発計画）を前倒し、または拡大することになった。」を選択された方は、生じた変化を具体的にご記入ください。>

記述欄 _____

Q4. Q2 で「3 製品化段階」または「4 上市段階」を選択した方に伺います。具体的な現在の状況についてお答えください。

<現在の状況と今後の見込み>

記述欄 _____

<直近単年度の出荷数量>

記述欄 _____

<直近単年度の売上の有無>

1 あり 2 なし

<直近単年度の売上の実績額（円）>

記述欄 _____

<直近単年度の利益（粗利益ベース）の有無>

1 あり 2 なし

<今後5年間の累積売上見込み額（円）>

記述欄 _____

<新たな雇用創出（含む関連会社）あるいは雇用維持の効果（例：○人／年）>

記述欄 _____

<前回の追跡アンケート調査時点と現在を比較した場合の、国内における競争力ポジション（技術・コスト・特許・市場等を総合的に判断したポジション）>

1 上がった 2 変わらない 3 下がった 4 不明

<前回の追跡アンケート調査時点と現在を比較した場合の、世界における競争力ポジション（技術・コスト・特許・市場等を総合的に判断したポジション）>

1 上がった 2 変わらない 3 下がった 4 不明

Q5. 現段階で、NEDO のサポートを必要とお考えですか。

- 1 必要 2 不要

<上記で、「1 必要」を選択した場合、その内容はどれですか。> 【複数回答可】

- 1 実用化（製品化・上市段階）への資金助成
- 2 標準化活動への支援
- 3 法規制に係る対応支援
- 4 ユーザー企業とのマッチングの場の提供
- 5 マスコミを活用した広報活動支援
- 6 技術課題克服の支援
- 7 パイロット規模の生産技術開発に関する支援
- 8 国内外の市場動向の情報収集への支援
- 9 その他 _____

【プロジェクト実施の効果に関連して伺います】

Q6. もし、プロジェクトに参加していなかった場合、社内において、当該研究開発はどのような状況になっていたと思われますか。【複数回答可】

- 1 着手されなかった。
- 2 中止・中断されていた。
- 3 3年以上遅れて着手されていた。
- 4 1年～2年程度遅れて着手されていた。
- 5 人員や設備投資が縮小されていた。
- 6 NEDO以外の外部研究開発資金で実施されていた。
- 7 予定通りに実施されていた。

Q7. 当該プロジェクト実施による波及効果について伺います。

<当初想定していなかった派生技術の有無>

- 1 あった 2 なかった

<上記で、「1 あった」を選択された方は、派生技術の内容及び適用先について具体的にご記入ください。>

記述欄 _____

<当該プロジェクトで目指した技術分野以外への技術転用の有無>

- 1 あった 2 なかった

<上記で、「1 あった」を選択された方は、技術転用先の分野・製品についてご記入ください。>

記述欄 _____

<当該プロジェクト実施による波及効果について、当てはまるものをご回答ください。>【複数回答可】

- 1 新規事業の創出
- 2 新規製品・サービスの開発
- 3 新規顧客の獲得
- 4 新規共同研究先の獲得
- 5 新たな外部資金(融資、出資含む)の獲得
- 6 中長期(5年~10年で事業化)の新規開発テーマの立ち上げ
- 7 短期(3年以内で事業化)の新規開発テーマの立ち上げ
- 8 社内における中長期研究開発に対する理解増進
- 9 既存製品へのNEDOプロジェクト開発成果の組み込み
- 10 既存の生産プロセスへの適用による高効率化や低コスト化
- 11 品質管理方法の改善
- 12 評価・解析技術の横展開
- 13 企業ブランドの向上
- 14 特になし

Q8. 当該プロジェクトに参加した研究員に対する人材育成効果について、当てはまるものをご回答ください。【複数回答可】

- 1 当該プロジェクトで得た経験や知見をもとに、新たな研究開発プロジェクト(国・社内外問わず)を企画した。
- 2 当該プロジェクトで得た経験や知見をもとに、別の研究開発プロジェクト(国・社内外問わず)でリーダーを務めた。
- 3 当該プロジェクトで得た経験や知見をもとに、別の研究開発プロジェクト(国・社内外問わず)で事業化を成し遂げた。
- 4 当該プロジェクトの成果をもとに博士号を取得した人材を輩出した。
- 5 特になし
- 6 その他 _____

【プロジェクト終了後の活動について伺います】

Q9. 直近1年間におけるNEDO担当者との協議頻度及び内容について当てはまるものをご回答ください。

<協議頻度>

- 1 週1回以上 2 月1回以上 3 3ヶ月に1回以上 4 半年に1回以上
- 5 1年に1回以上 6 ほとんど無し

<協議内容>【複数回答可】

- 1 各種提出書類に係る対応
- 2 法規制に係る協議
- 3 事業化シナリオの方向性検討
- 4 研究開発の方向性検討
- 5 知的財産等の取り扱いに係る検討
- 6 戦略的な標準化取得に向けた検討
- 7 国内外の技術開発動向
- 8 技術的なアドバイス（データ解析・解釈）
- 9 市場に関するアドバイス
- 10 宣伝・広報
- 11 ユーザー企業とのマッチングの場の提供
- 12 経営に関するアドバイス
- 13 その他（上記以外で重要な項目） _____

Q10. 本追跡アンケート調査及び NEDO における評価活動についてのご意見・ご要望等ございましたらご記入ください。

記述欄 _____

以上、ご協力、誠にありがとうございました。

【NEDO からのお知らせ】

●NEDO 公式 Twitter

NEDO ホームページに掲載された最新の情報（ニュースリリース、公募情報、イベント開催情報等）を、メール配信サービスにご登録いただいた皆様に発信していましたが、2020 年 4 月 20 日より、NEDO 公式 Twitter から情報発信を行っております。是非、NEDO 公式 Twitter をご覧ください。

<http://www.nedo.go.jp/nedomail/index.html>

●標準化に関するお役立ち情報

国際標準化等を通じた研究開発成果の事業化支援も NEDO の重要な役割の一つです。研究開発成果の社会実装を実現化していくための一つのツールである標準化について、検討する際に役立つ情報を「標準化に関するお役立ち情報」としてとりまとめました。是非、ご活用ください。

https://www.nedo.go.jp/introducing/useful_info.html

●マッチング スペース

ベンチャー、中小・中堅企業向け支援メニューの 1 つとして、NEDO 成果を活用した製品開発・技術開発、成果物の販売、サンプル提供、技術提携等、幅広く企業等（ユーザー）との“マッチングの場”となることを目的としたコンテンツです。

<http://www.nedo.go.jp/library/matching/index.html>

●NEDO プロジェクト実用化ドキュメント（107 事例掲載）

追跡アンケート調査において、製品化段階もしくは上市段階に至った開発成果について、現在、どのような製品やサービスとなって活用されているか、開発現場を訪ねて紹介するシリーズ企画です。様々な分野の開発ストーリーを掲載しておりますので、是非、ご覧下さい。

<http://www.nedo.go.jp/hyoukabu/index.html>

●NEDO インサイド製品（117 製品登録）

NEDO プロジェクト開発成果が社会にもたらす経済効果や社会的便益について「NEDO インサイド製品 2019」として取り纏めました。是非、ご覧ください。

http://www.nedo.go.jp/nedo_inside.html

2020年度 簡易中止調査票（制度，企業）

【当該プロジェクトに関連する現在の状況について伺います】

Q1. 研究開発成果のうち全てを第三者に事業承継もしくは事業譲渡している場合には、「具体的な状況」、「相手先の組織名称」、「相手先で連絡先となる者の氏名、部署、役職、電話番号、E-mail」をご記入ください。

記述欄 _____

Q2. 現時点における貴社の研究開発成果の段階は、次のうちどれですか。

- 1 研究段階 （基礎的・要素的な基礎探索段階）
- 2 開発段階 （開発用サンプル^{*1}）の作製，実用化に向けた課題を把握，応用開発段階）
- 3 製品化段階 （顧客評価（認定用）サンプル^{*2}）の作製，量産化技術の確立，工業化開発段階）
- 4 上市段階 （カタログ掲載など市場での取引を開始，工場での運転を開始）
- 5 中止 （社内での研究開発活動は停止され，それ以上の開発は行われない。）
- 6 中断 （社内での研究開発活動は一時的に停止しているが，将来再開する可能性がある。）

*1) ユーザーニーズを把握するためのサンプル

*2) 顧客が製品を導入するための判断材料となるサンプル

【参考】研究開発段階のイメージ

	<活動の内容>	<アウトプットイメージ>
研究段階	基礎的/要素的な研究（現象の新規性や性能の進歩性等について把握）	社内レポート，特許，論文等
開発段階	製品化/上市を視野に入れた開発（開発用サンプルを作成し、ユーザーへのマーケティング調査を行うとともに技術やコストの優位性および量産化技術等の課題を把握）	製品化/上市の判断材料となる結果等
製品化段階	製品化、量産化技術の確立（製品化への社内承認，試作機の製造，所管省庁/監督団体による販売承認/検査，製品を市場に投入するための設備投資の実施等）	顧客評価（認定用）サンプルの作成や量産試作の実施，製造ライン設置，原価計算等
上市段階	市場での取引	製品ラインアップ化（カタログ掲載）、継続的な売上発生等

Q3. 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う対応に関連し、貴社の研究開発成果を取り巻く状況に変化はありましたか。

- 1 事業計画（あるいは研究開発計画）を前倒し、または拡大することになった。
- 2 計画の変更には至っていないが、社内外からの問い合わせが増加した。
- 3 事業計画（あるいは研究開発計画）を後倒し、または縮小することになった。
- 4 特に変化はなし。

<上記で、「1 事業計画（あるいは研究開発計画）を前倒し、または拡大することになった。」を選択された方は、生じた変化を具体的にご記入ください。>

記述欄 _____

Q4. Q2 で「1 研究段階」「2 開発段階」「3 製品化段階」または「4 上市段階」を選択した方に伺います。具体的な現在の状況についてお答え下さい。

<研究開発の活動主体>

- 1 研究開発部門 2 事業部門

<想定される上市・製品化の時期>

- 1 3年以内 2 3～5年 3 5～10年 4 10年以上 5 予定はたっていない

<当該研究開発を再開された要因> 【複数回答可】

- 1 技術開発課題を解決する手法の出現
2 コスト課題を解決する手法の出現
3 社内他用途（製品）への横展開
4 顧客の出現
5 事業戦略の変化
6 新規市場の形成、
7 法規制・標準化の変化
8 NEDO プロジェクトでの共同研究先の意向
9 NEDO プロジェクトメンバー以外からの共同開発の要請
10 社内キーパーソンの参画
11 その他 _____

<上記で選択した再開要因の具体的な経緯>

記述欄 _____

Q5. Q4. <当該研究開発を再開された要因>で「1 技術開発課題を解決する手法の出現」、「2 コスト課題を解決する手法の出現」、「3 社内他用途（製品）への横展開」、「4 顧客の出現」のどれかを選択した方に伺います。再開された要因は、NEDO プロジェクトにおいてに解決できるものでしたか。解決できる可能性があった場合は、想定された対処方針についてご教示ください。

記述欄 _____

【プロジェクト実施の効果に関連して伺います】

Q6. 当該プロジェクト実施による波及効果について伺います。

＜当初想定していなかった派生技術の有無＞

- 1 あった 2 なかった

＜上記で、「1 あった」を選択された方は、派生技術の内容及び適用先について具体的にご記入ください。＞

記述欄 _____

＜当該プロジェクトで目指した技術分野以外への技術転用の有無＞

- 1 あった 2 なかった

＜上記で、「1 あった」を選択された方は、技術転用先の分野・製品についてご記入ください。＞

記述欄 _____

＜当該プロジェクト実施による波及効果について、当てはまるものをご回答ください＞【複数回答可】

- 1 新規事業の創出
- 2 新規製品・サービスの開発
- 3 新規顧客の獲得
- 4 新規共同研究先の獲得
- 5 新たな外部資金(融資、出資含む)の獲得
- 6 中長期(5年～10年で事業化)の新規開発テーマの立ち上げ
- 7 短期(3年以内で事業化)の新規開発テーマの立ち上げ
- 8 社内における中長期研究開発に対する理解増進
- 9 既存製品へのNEDOプロジェクト開発成果の組み込み
- 10 既存の生産プロセスへの適用による高効率化や低コスト化
- 11 品質管理方法の改善
- 12 評価・解析技術の横展開
- 13 企業ブランドの向上
- 14 特になし

Q7. 当該プロジェクトに参加した研究員に対する人材育成効果について、当てはまるものをご回答ください。【複数回答可】

- 1 当該プロジェクトで得た経験や知見をもとに、新たな研究開発プロジェクト(国・社内外問わず)を企画した。
- 2 当該プロジェクトで得た経験や知見をもとに、別の研究開発プロジェクト(国・社内外問わず)でリーダーを務めた。

- 3 当該プロジェクトで得た経験や知見をもとに、別の研究開発プロジェクト（国・社内外問わず）で事業化を成し遂げた。
- 4 当該プロジェクトの成果をもとに博士号を取得した人材を輩出した。
- 5 特になし
- 6 その他 _____

【プロジェクト終了後の活動について伺います】

Q8. 直近1年間におけるNEDO担当者との協議頻度及び内容について当てはまるものをご回答ください。

<協議頻度>

- 1 週1回以上
- 2 月1回以上
- 3 3ヶ月に1回以上
- 4 半年に1回以上
- 5 1年に1回以上
- 6 ほとんど無し

<協議内容>【複数回答可】

- 1 各種提出書類に係る対応
- 2 法規制に係る協議
- 3 事業化シナリオの方向性検討
- 4 研究開発の方向性検討
- 5 知的財産等の取り扱いに係る検討
- 6 戦略的な標準化取得に向けた検討
- 7 国内外の技術開発動向
- 8 技術的なアドバイス（データ解析・解釈）
- 9 市場に関するアドバイス
- 10 宣伝・広報
- 11 ユーザー企業とのマッチングの場の提供
- 12 経営に関するアドバイス
- 13 その他（上記以外で重要な項目） _____

Q9. 現状でNEDOのサポートを必要とお考えですか。

- 1 必要
- 2 不要

<上記で、「1 必要」を選択した場合、その内容はどれですか>【複数回答可】

- 1 実用化の際の資金助成
- 2 標準化活動への支援
- 3 法規制に係る対応支援
- 4 ユーザー企業とのマッチングの場の提供
- 5 マスコミを活用した広報活動支援
- 6 技術課題克服の支援

- 7 パイロット規模の生産技術開発に関する支援
- 8 国内外の市場動向の情報収集への支援
- 9 その他 _____

Q10. 本追跡アンケート調査及び NEDO における評価活動についてのご意見・ご要望等ございましたらご記入ください。

記述欄 _____

以上、ご協力、誠にありがとうございました。

【NEDO からのお知らせ】

●NEDO 公式 Twitter

NEDO ホームページに掲載された最新の情報（ニュースリリース、公募情報、イベント開催情報等）を、メール配信サービスにご登録いただいた皆様に発信していましたが、2020 年 4 月 20 日より、NEDO 公式 Twitter から情報発信を行っております。是非、NEDO 公式 Twitter をご覧ください。

<http://www.nedo.go.jp/nedomail/index.html>

●標準化に関するお役立ち情報

国際標準化等を通じた研究開発成果の事業化支援も NEDO の重要な役割の一つです。研究開発成果の社会実装を実現化していくための一つのツールである標準化について、検討する際に役立つ情報を「標準化に関するお役立ち情報」としてとりまとめました。是非、ご活用ください。

https://www.nedo.go.jp/introducing/useful_info.html

●研究開発型ベンチャー・中小企業向け支援メニュー

ベンチャー、中小・中堅企業向けのテーマ公募型事業の紹介や、「事業会社と研究開発型ベンチャー企業の連携のための手引き（初版）」を紹介したページです。

http://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP2_100063.html?from=key

●マッチング スペース

ベンチャー、中小・中堅企業向け支援メニューの 1 つとして、NEDO 成果を活用した製品開発・技術開発、成果物の販売、サンプル提供、技術提携等、幅広く企業等（ユーザー）との“マッチングの場”となることを目的としたコンテンツです。

<http://www.nedo.go.jp/library/matching/index.html>

●NEDO プロジェクト実用化ドキュメント（107 事例掲載）

追跡アンケート調査において、製品化段階もしくは上市段階に至った開発成果について、現在、どのような製品やサービスとなって活用されているか、開発現場を訪ねて紹介するシリーズ企画です。様々な分

野の開発ストーリーを掲載しておりますので、是非、ご覧下さい。

<http://www.nedo.go.jp/hyoukabu/index.html>

●NEDO インサイド製品（117 製品登録）

NEDO プロジェクト開発成果が社会にもたらす経済効果や社会的便益について「NEDO インサイド製品 2019」として取り纏めました。是非、ご覧ください。

http://www.nedo.go.jp/nedo_inside.html

2020 年度 詳細上市調査票（制度）

【上市・製品化段階に至った当該製品について伺います】

Q1. 現在の具体的な状況について教えてください。

<製品名>

記述欄 _____

<現在の状況と今後の見込み>

記述欄 _____

<直近単年度の出荷数量>

記述欄 _____

<直近単年度の売上の有無>

1 あり 2 なし

<（上記で「1 あり」を選択された方）直近単年度の売上の実績額（円）>

記述欄 _____

<（上記で「1 あり」を選択された方）直近単年度の利益の有無>

1 あり 2 なし

<今後 5 年間の累積売上見込み額（円）>

記述欄 _____

<新たな雇用創出（含む関連会社）あるいは雇用維持の効果（例：○人）>

記述欄 _____

Q2. NEDO プロジェクトへの参加・実施は、当該製品に関する下記項目に対してどのような効果を与えましたか。

<上市・製品化時期の早期化>

1 著しく早まった（3年以上） 2 早まった（1～2年） 3 変わらない
4 遅れた（1～2年） 5 著しく遅れた（3年以上）

<性能の向上>

1 著しく向上した 2 向上した 3 変わらない 4 低下した 5 著しく低下した

<品質の向上>

- 1 著しく向上した 2 向上した 3 変わらない 4 低下した 5 著しく低下した

<コスト削減>

- 1 著しく削減された 2 削減された 3 変わらない 4 増加した 5 著しく増加した

<新規事業の創出>

- 1 新規事業が創出された 2 既存事業が強化された 3 変わらない

<新規顧客の獲得>

- 1 新規顧客が獲得できた 2 変わらない

<新規調達先の獲得>

- 1 新規調達先が獲得できた 2 変わらない

<新規共同研究先の獲得>【複数選択可】

- 1 新規共同研究先（NEDO プロジェクト連携先企業）の獲得
- 2 新規共同研究先（NEDO プロジェクト連携先大学・公的研究機関）の獲得
- 3 新規共同研究先（NEDO プロジェクトに参加していなかった国内機関）の獲得
- 4 新規共同研究先（海外機関）の獲得
- 5 新たに国内コンソーシアムへ参加
- 6 新たに海外コンソーシアムへ参加
- 7 変わらない

<その他の影響>

記述欄 _____

Q3. プロジェクトでの研究開発成果が上市・製品化にまで至った要因として特に重要だったと考えられる取組みや出来事は何ですか。

<プロジェクト実施期間中>

記述欄 _____

<プロジェクト終了後>

記述欄 _____

Q4. 貴社内において、研究開発の主体部門が研究開発部門から事業部門に移る（または、連携をする）タイミングや切っ掛けは何ですか。（例えば、マーケットのニーズやターゲットが明確になった、技術の信頼性が担保された、顧客が現れた など）

記述欄 _____

Q5. 貴社の研究開発において、他社や大学等との連携を行う場合、特に重視している点がありますか。

<他企業との連携について>

記述欄 _____

<大学等（公的研究機関も含む）との連携について>

記述欄 _____

以上、ご協力、誠にありがとうございました。

【NEDO からのお知らせ】

●NEDO 公式 Twitter

NEDO ホームページに掲載された最新の情報（ニュースリリース、公募情報、イベント開催情報等）を、メール配信サービスにご登録いただいた皆様に発信していましたが、2020年4月20日より、NEDO 公式 Twitter から情報発信を行っております。是非、NEDO 公式 Twitter をご覧ください。

<http://www.nedo.go.jp/nedomail/index.html>

●標準化に関するお役立ち情報

国際標準化等を通じた研究開発成果の事業化支援も NEDO の重要な役割の一つです。研究開発成果の社会実装を実現化していくための一つのツールである標準化について、検討する際に役立つ情報を「標準化に関するお役立ち情報」としてとりまとめました。是非、ご活用ください。

https://www.nedo.go.jp/introducing/useful_info.html

●研究開発型ベンチャー・中小企業向け支援メニュー

ベンチャー、中小・中堅企業向けのテーマ公募型事業の紹介や、「事業会社と研究開発型ベンチャー企業の連携のための手引き（初版）」を紹介したページです。

http://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP2_100063.html?from=key

●マッチングスペース

ベンチャー、中小・中堅企業向け支援メニューの1つとして、NEDO 成果を活用した製品開発・技術開発、成果物の販売、サンプル提供、技術提携等、幅広く企業等（ユーザー）との“マッチングの場”となることを目的としたコンテンツです。

<http://www.nedo.go.jp/library/matching/index.html>

●NEDO プロジェクト実用化ドキュメント（107 事例掲載）

追跡アンケート調査において、製品化段階もしくは上市段階に至った開発成果について、現在、どのような製品やサービスとなって活用されているか、開発現場を訪ねて紹介するシリーズ企画です。様々な分野の開発ストーリーを掲載しておりますので、是非、ご覧下さい。

<http://www.nedo.go.jp/hyoukabu/index.html>

●NEDO インサイド製品（117 製品登録）

NEDO プロジェクト開発成果が社会にもたらす経済効果や社会的便益について「NEDO インサイド製品 2019」として取り纏めました。是非、ご覧ください。

http://www.nedo.go.jp/nedo_inside.html

2020年度 詳細上市調査票（制度）

【上市・製品化段階に至った当該製品について伺います】

Q1. 現在の具体的な状況について教えてください。

<製品名>

記述欄 _____

<現在の状況と今後の見込み>

記述欄 _____

<直近単年度の出荷数量>

記述欄 _____

<直近単年度の売上の有無>

1 あり 2 なし

<（上記で「1 あり」を選択された方）直近単年度の売上の実績額（円）>

記述欄 _____

<（上記で「1 あり」を選択された方）直近単年度の利益の有無>

1 あり 2 なし

<今後5年間の累積売上見込み額（円）>

記述欄 _____

<新たな雇用創出（含む関連会社）あるいは雇用維持の効果（例：○人）>

記述欄 _____

Q2. NEDO プロジェクトへの参加・実施は、当該製品に関する下記項目に対してどのような効果を与えましたか。

<上市・製品化時期の早期化>

1 著しく早まった（3年以上） 2 早まった（1～2年） 3 変わらない
4 遅れた（1～2年） 5 著しく遅れた（3年以上）

<性能の向上>

1 著しく向上した 2 向上した 3 変わらない 4 低下した 5 著しく低下した

<品質の向上>

- 1 著しく向上した 2 向上した 3 変わらない 4 低下した 5 著しく低下した

<コスト削減>

- 1 著しく削減された 2 削減された 3 変わらない 4 増加した 5 著しく増加した

<新規事業の創出>

- 1 新規事業が創出された 2 既存事業が強化された 3 変わらない

<新規顧客の獲得>

- 1 新規顧客が獲得できた 2 変わらない

<新規調達先の獲得>

- 1 新規調達先が獲得できた 2 変わらない

<新規共同研究先の獲得>【複数選択可】

- 1 新規共同研究先（NEDO プロジェクト連携先企業）の獲得
- 2 新規共同研究先（NEDO プロジェクト連携先大学・公的研究機関）の獲得
- 3 新規共同研究先（NEDO プロジェクトに参加していなかった国内機関）の獲得
- 4 新規共同研究先（海外機関）の獲得
- 5 新たに国内コンソーシアムへ参加
- 6 新たに海外コンソーシアムへ参加
- 7 変わらない

<その他の影響>

記述欄 _____

Q3. プロジェクトでの研究開発成果が上市・製品化にまで至った要因として特に重要だったと考えられる取組みや出来事は何ですか。

<プロジェクト実施期間中>

記述欄 _____

<プロジェクト終了後>

記述欄 _____

Q4. 貴社内において、研究開発の主体部門が研究開発部門から事業部門に移る（または、連携をする）タイミングや切っ掛けは何ですか。（例えば、マーケットのニーズやターゲットが明確になった、技術の信頼性が担保された、顧客が現れた など）

記述欄 _____

Q5. 貴社の研究開発において、他社や大学等との連携を行う場合、特に重視している点がありますか。

<他企業との連携について>

記述欄 _____

<大学等（公的研究機関も含む）との連携について>

記述欄 _____

以上、ご協力、誠にありがとうございました。

【NEDO からのお知らせ】

●NEDO 公式 Twitter

NEDO ホームページに掲載された最新の情報（ニュースリリース、公募情報、イベント開催情報等）を、メール配信サービスにご登録いただいた皆様に発信していましたが、2020年4月20日より、NEDO 公式 Twitter から情報発信を行っております。是非、NEDO 公式 Twitter をご覧ください。

<http://www.nedo.go.jp/nedomail/index.html>

●標準化に関するお役立ち情報

国際標準化等を通じた研究開発成果の事業化支援も NEDO の重要な役割の一つです。研究開発成果の社会実装を実現化していくための一つのツールである標準化について、検討する際に役立つ情報を「標準化に関するお役立ち情報」としてとりまとめました。是非、ご活用ください。

https://www.nedo.go.jp/introducing/useful_info.html

●研究開発型ベンチャー・中小企業向け支援メニュー

ベンチャー、中小・中堅企業向けのテーマ公募型事業の紹介や、「事業会社と研究開発型ベンチャー企業の連携のための手引き（初版）」を紹介したページです。

http://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP2_100063.html?from=key

●マッチングスペース

ベンチャー、中小・中堅企業向け支援メニューの1つとして、NEDO 成果を活用した製品開発・技術開発、成果物の販売、サンプル提供、技術提携等、幅広く企業等（ユーザー）との“マッチングの場”となることを目的としたコンテンツです。

<http://www.nedo.go.jp/library/matching/index.html>

●NEDO プロジェクト実用化ドキュメント（107 事例掲載）

追跡アンケート調査において、製品化段階もしくは上市段階に至った開発成果について、現在、どのような製品やサービスとなって活用されているか、開発現場を訪ねて紹介するシリーズ企画です。様々な分野の開発ストーリーを掲載しておりますので、是非、ご覧下さい。

<http://www.nedo.go.jp/hyoukabu/index.html>

●NEDO インサイド製品（117 製品登録）

NEDO プロジェクト開発成果が社会にもたらす経済効果や社会的便益について「NEDO インサイド製品 2019」として取り纏めました。是非、ご覧ください。

http://www.nedo.go.jp/nedo_inside.html

2020年度 詳細中止調査票（制度）

【当該研究開発が中止・中断に至った経緯・要因等について伺います】

Q1. NEDO プロジェクト参加当初の計画において上市・製品化を目指していましたか。

- 1 はい 2 いいえ

Q2. 当該研究開発において、中止・中断の方針を決定した最終的な意思決定者は誰ですか。

- 1 経営陣（役員以上） 2 事業部門の長 3 研究部門の長 4 その他

その他記述欄 _____

Q3. 中止・中断が顕在化した時期はいつ頃からですか。

- 1 提案前 2 採択直後 3 中盤 4 後半 5 終了後

Q4. 中止・中断となってしまった要因や具体的な理由や経緯は何ですか。プロジェクト実施期間中から現在までを振り返ってお答えください。

<中止・中断の要因> 【複数回答可】

- 1 技術課題の克服が困難（目標性能が未達成）
- 2 技術課題の克服が困難（差別化技術が未達成）
- 3 コスト課題の克服が困難
- 4 顧客ニーズとの不一致
- 5 顧客サイドの工程変更
- 6 市場の変化・見込み違い
- 7 経営戦略の変化
- 8 法規制対応が未解決
- 9 実用化を目指す企業のサポートとして参加したため
- 10 社内キーパーソンの離脱
- 11 事業部門が取り組まなかったため
- 12 NEDO プロジェクトでの共同研究先の意向
- 13 その他

その他記述欄 _____

<具体的な理由や経緯>

記述欄 _____

Q5. 中止・中断は、何が出来ていればリカバリーすることが可能だったと思われますか。

記述欄 _____

Q6. 当該研究開発成果について、NEDO プロジェクト期間中及び終了後から現在まで、製品化段階もしくは上市段階に達したことはありますか。

- 1 はい 2 いいえ

【参考】製品化段階・上市段階のイメージ

	<活動の内容>	<アウトプットイメージ>
製品化段階	製品化、量産化技術の確立（製品化への社内承認、試作機の製造、所管省庁/監督団体による販売承認/検査、製品を市場に投入するための設備投資の実施等）。	顧客評価（認定用）サンプルの作成や量産試作の実施、製造ライン設置、原価計算等。
上市段階	市場での取引。	製品ラインアップ化（カタログ掲載）、継続的な売上発生等。

Q7. Q6で「1 はい」を選択した場合、具体的な製品名、製品化時期及び活動の内容をお答え下さい。

記述欄 _____

以上、ご協力、誠にありがとうございました。

【NEDO からのお知らせ】

●NEDO 公式 Twitter

NEDO ホームページに掲載された最新の情報（ニュースリリース、公募情報、イベント開催情報等）を、メール配信サービスにご登録いただいた皆様に発信していましたが、2020年4月20日より、NEDO 公式 Twitter から情報発信を行っております。是非、NEDO 公式 Twitter をご覧ください。

<http://www.nedo.go.jp/nedomail/index.html>

●標準化に関するお役立ち情報

国際標準化等を通じた研究開発成果の事業化支援も NEDO の重要な役割の一つです。研究開発成果の社会実装を実現化していくための一つのツールである標準化について、検討する際に役立つ情報を「標準化に関するお役立ち情報」としてとりまとめました。是非、ご活用ください。

https://www.nedo.go.jp/introducing/useful_info.html

●研究開発型ベンチャー・中小企業向け支援メニュー

ベンチャー、中小・中堅企業向けのテーマ公募型事業の紹介や、「事業会社と研究開発型ベンチャー企業の連携のための手引き（初版）」を紹介したページです。

http://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP2_100063.html?from=key

●マッチング スペース

ベンチャー、中小・中堅企業向け支援メニューの1つとして、NEDO 成果を活用した製品開発・技術開発、成果物の販売、サンプル提供、技術提携等、幅広く企業等（ユーザー）との“マッチングの場”となる

ことを目的としたコンテンツです。

<http://www.nedo.go.jp/library/matching/index.html>

●NEDO プロジェクト実用化ドキュメント（107 事例掲載）

追跡アンケート調査において、製品化段階もしくは上市段階に至った開発成果について、現在、どのような製品やサービスとなって活用されているか、開発現場を訪ねて紹介するシリーズ企画です。様々な分野の開発ストーリーを掲載しておりますので、是非、ご覧下さい。

<http://www.nedo.go.jp/hyoukabu/index.html>

●NEDO インサイド製品（117 製品登録）

NEDO プロジェクト開発成果が社会にもたらす経済効果や社会的便益について「NEDO インサイド製品 2019」として取り纏めました。是非、ご覧ください。

http://www.nedo.go.jp/nedo_inside.html

2020年度 詳細中止調査票（制度）

【当該研究開発が中止・中断に至った経緯・要因等について伺います】

Q1. NEDOプロジェクト参加当初の計画において上市・製品化を目指していましたか。

- 1 はい 2 いいえ

Q2. 当該研究開発において、中止・中断の方針を決定した最終的な意思決定者は誰ですか。

- 1 経営陣（役員以上） 2 事業部門の長 3 研究部門の長 4 その他

その他記述欄 _____

Q3. 中止・中断が顕在化した時期はいつ頃からですか。

- 1 提案前 2 採択直後 3 中盤 4 後半 5 終了後

Q4. 中止・中断となってしまった要因や具体的な理由や経緯は何ですか。プロジェクト実施期間中から現在までを振り返ってお答えください。

<中止・中断の要因> 【複数回答可】

- 1 技術課題の克服が困難（目標性能が未達成）
- 2 技術課題の克服が困難（差別化技術が未達成）
- 3 コスト課題の克服が困難
- 4 顧客ニーズとの不一致
- 5 顧客サイドの工程変更
- 6 市場の変化・見込み違い
- 7 経営戦略の変化
- 8 法規制対応が未解決
- 9 実用化を目指す企業のサポートとして参加したため
- 10 社内キーパーソンの離脱
- 11 事業部門が取り組まなかったため
- 12 NEDOプロジェクトでの共同研究先の意向
- 13 その他

その他記述欄 _____

<具体的な理由や経緯>

記述欄 _____

Q5. 中止・中断は、何が出来ていればリカバリーすることが可能だったと思われますか。

記述欄 _____

Q6. 当該研究開発成果について、NEDO プロジェクト期間中及び終了後から現在まで、製品化段階もしくは上市段階に達したことはありますか。

- 1 はい 2 いいえ

【参考】製品化段階・上市段階のイメージ

	<活動の内容>	<アウトプットイメージ>
製品化段階	製品化、量産化技術の確立（製品化への社内承認、試作機の製造、所管省庁/監督団体による販売承認/検査、製品を市場に投入するための設備投資の実施等）。	顧客評価（認定用）サンプルの作成や量産試作の実施、製造ライン設置、原価計算等。
上市段階	市場での取引。	製品ラインアップ化（カタログ掲載）、継続的な売上発生等。

Q7. Q6で「1 はい」を選択した場合、具体的な製品名、製品化時期及び活動の内容をお答え下さい。

記述欄 _____

以上、ご協力、誠にありがとうございました。

【NEDO からのお知らせ】

●NEDO 公式 Twitter

NEDO ホームページに掲載された最新の情報（ニュースリリース、公募情報、イベント開催情報等）を、メール配信サービスにご登録いただいた皆様に発信していましたが、2020年4月20日より、NEDO 公式 Twitter から情報発信を行っております。是非、NEDO 公式 Twitter をご覧ください。

<http://www.nedo.go.jp/nedomail/index.html>

●標準化に関するお役立ち情報

国際標準化等を通じた研究開発成果の事業化支援も NEDO の重要な役割の一つです。研究開発成果の社会実装を実現化していくための一つのツールである標準化について、検討する際に役立つ情報を「標準化に関するお役立ち情報」としてとりまとめました。是非、ご活用ください。

https://www.nedo.go.jp/introducing/useful_info.html

●研究開発型ベンチャー・中小企業向け支援メニュー

ベンチャー、中小・中堅企業向けのテーマ公募型事業の紹介や、「事業会社と研究開発型ベンチャー企業の連携のための手引き（初版）」を紹介したページです。

http://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP2_100063.html?from=key

●マッチング スペース

ベンチャー、中小・中堅企業向け支援メニューの1つとして、NEDO 成果を活用した製品開発・技術開発、成果物の販売、サンプル提供、技術提携等、幅広く企業等（ユーザー）との“マッチングの場”となる

ことを目的としたコンテンツです。

<http://www.nedo.go.jp/library/matching/index.html>

●NEDO プロジェクト実用化ドキュメント（107 事例掲載）

追跡アンケート調査において、製品化段階もしくは上市段階に至った開発成果について、現在、どのような製品やサービスとなって活用されているか、開発現場を訪ねて紹介するシリーズ企画です。様々な分野の開発ストーリーを掲載しておりますので、是非、ご覧下さい。

<http://www.nedo.go.jp/hyoukabu/index.html>

●NEDO インサイド製品（117 製品登録）

NEDO プロジェクト開発成果が社会にもたらす経済効果や社会的便益について「NEDO インサイド製品 2019」として取り纏めました。是非、ご覧ください。

http://www.nedo.go.jp/nedo_inside.html